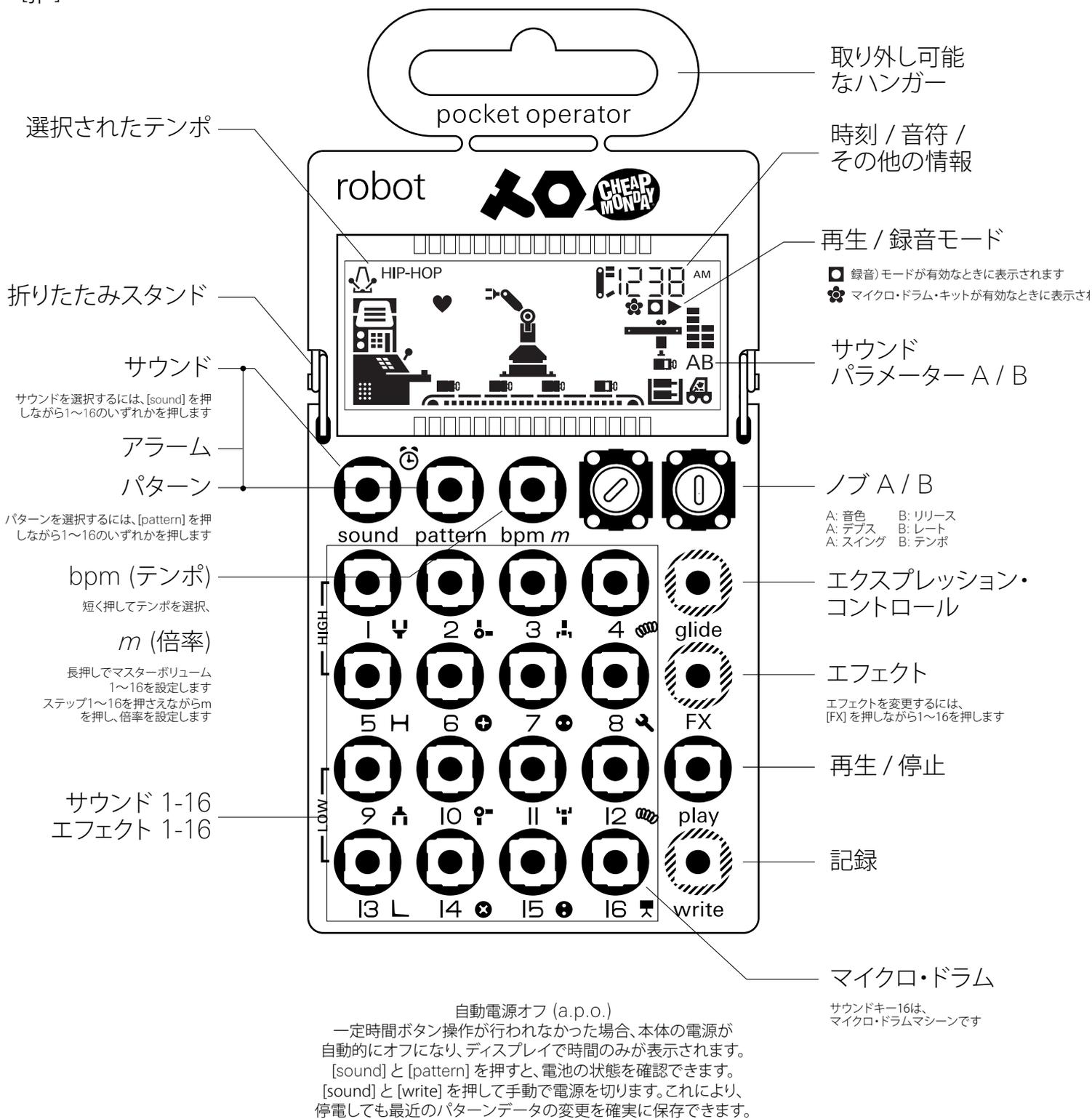


PO-28 robot
 ユーザーズマニュアル
 [jp]



自動電源オフ (a.p.o.)
 一定時間ボタン操作が行われなかった場合、本体の電源が自動的にオフになり、ディスプレイで時間のみが表示されます。
 [sound] と [pattern] を押し、電池の状態を確認できます。
 [sound] と [write] を押し、手で電源を切ります。これにより、
 停電しても最近のパターンデータの変更を確実に保存できます。

サウンドキー16は、
 マイクロ・ドラムマシンです

サウンド 1-16

- | | |
|------------|------------------|
| 1. LFOパルス波 | 9. LFOパルス波 |
| 2. パルス波 | 10. パルス波 |
| 3. 混合波 | 11. 混合波 |
| 4. 三角波 | 12. 三角波 |
| 5. エコー | 13. エコー |
| 6. アルペジオ | 14. アルペジオ |
| 7. ビブラート | 15. ビブラート |
| 8. 4ビット三角波 | 16. マイクロ・ドラム・キット |

エフェクト 1-16

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. ディストーテッド・フィルタ | 9. フィルイ |
| 2. ディストーテッド・スイープ | 10. フィルイン (高速) |
| 3. リピート4 | 11. リトリガー |
| 4. リピート2 | 12. リトリガー (高速) |
| 5. ローパス・スロー・スイープ | 13. グリッチ |
| 6. ローパス・ファースト・スイープ | 14. グリッチ (高速) |
| 7. ハイパス・フィルタ | 15. ブラインド |
| 8. ハイパス・スイープ | 16. ノイズエフェクト |

1. 使ってみましょう

電池

新しい単4乾電池を2本入れます。
プラスとマイナスの極性にご注意ください。

時刻設定

ノブAを回して時間単位、ノブBを回して分単位で時刻設定を行います。いずれかのキーを押して確定し、終了します。

アラーム時計

[sound] と [pattern] を押します。ノブAで時間単位、ノブBで分単位のアラーム時刻を設定します。(アラームを解除するには、ノブAを一番下まで回します。) 1~16のいずれかのキーを押してアラームのパターンを設定します。アラームを止めるには、いずれかのキーを押します。

時刻のリセット

時刻設定をリセットするには、一度電池を抜いて入れ直し、初めからやり直します。

2. ライブ・プレイ

サウンドの選択

高オクターブ範囲でサウンドを選択するには、[sound] を押しながら1~8のいずれかのキーを押します。低オクターブ範囲でサウンドを選択するには、[sound] を押しながら9~15のいずれかのキーを押します。

メロディーの再生

1~16のキーを押し、固定スケールからの音符を再生します。

サウンドの調整

ノブAは、現在のサウンドの音色を制御します。ノブBは、リリースレートを制御します。

自動ビブラート

[glide] を押しながら、ノブで自動ビブラートを微調整します。ビブラートは、ライブの各音符の開始後に短時間適用されます。ノブAは、ビブラートのデプスを制御し、ノブBはリリースレートを制御します。この機能をオフにするには、ノブAを一番左まで回します。

エクスプレッションの追加

[glide] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押して1音程上にグライドします。
[glide] を押しながら音符キーから指を放し、下降型半音階エフェクトを有効にします。

マイクロ・ドラム・キット

[sound] を押しながら16を押し、マイクロ・ドラム・キットを選択します。
1~16のキーを押して、8ビットの各種ドラム・サウンドを起動します。

3. シーケンサー

デバイスには、16ステップ、2チャンネルのシーケンサーが搭載されています。第1シーケンサーチャンネルはメロディー用、第2チャンネルはドラム用です。

再生

[pattern] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押してパターンを選択します。選択中のパターンに該当するLEDが点滅します。
[play] を押して再生を開始、停止します。
ビートを作る
パターンの内容を編集するには、[write] を押します (録音記号が表示されます)。
グリッドにサウンド/音符を入力します。選択

中のステップが点灯します。[play] を押して作成したパターンを再生します。サウンド16を選択すると、グリッドはドラム・チャンネルになります。その他のサウンドが選択されている場合は、グリッドはメロディー・チャンネルです。

サウンドの選択

メロディー・チャンネルのサウンドを選択するには、[write] モードになっている時に [sound] を押しながら1~8 (または9~15) のいずれかのキーを押します。

パラメーターのロック

再生中に [write] を押さえずにノブを回すと、録音サウンドのパラメーターが徐々に変化します。[write] モードが有効の時に、点灯しているステップを押しながらノブAを回すと、音価を設定、またはドラム・サウンドを選択できます。

パターンの微調整

[write] モードになっている時に、点灯しているステップを押しながらノブBを回すと、そのステップのリリースレートを変更できます。点灯しているステップを押しながら [glide] を押し、そのステップのグライドアップ・エフェクトを切り替えます。点灯していないステップを押しながら [glide] を押し、そのステップのグライドダウン・エフェクトを切り替えます。

4. エフェクト

再生中にエフェクトをパンチンするには、[FX] を押しながら1~16のいずれかのキーを押します。他のキーは押さずに [FX] だけを押して、エフェクトを消去します。裏ページの図を参照してください。フィルター・エフェクトは、シーケンサーが停止したとき、ライブモードでも作動します。[FX] を押しながら有効にしたいエフェクトが記録されている1~16のいずれかのキーを押します。[FX] を短時間押して、エフェクトを解除します。

5. テンポとスイング

[bpm] を押して、テンポを変更します。ディスプレイの右上隅にテンポが表示されます。
HIP HOP (80 bpm)
DISCO (120 bpm)
TECHNO (140 bpm)
テンポを微調整するには、[bpm] を押さえずにノブBを回します (60~240 bpm)。

6. ボリューム

マスターボリュームを設定するには、[bpm] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押します。

7. ライブ録音

[write] モード以外の時は、再生中に [write] を押しながら、1~16のいずれかのキーを押して音符をパンチンします。
入力した音符はスウィング設定に応じてクオンタイズされます。

8. ステップ・マルチプレイヤー

[write] モードでマイクロ・ドラム・キット (サウンド16) が選択されていることを確認します。その場合、グリッドはドラム・チャンネルになっています。点灯しているステップを押しながら、[bpm] を押し、そのステップにリトリガーを入力します。
[bpm] を複数回押すと、2、4、6、8の倍率設定を切り替えられます。

9. 作曲

(パターンのチェイン)

パターンのコピー

[write] と [pattern] を押さえずに、1~16のいずれかのキーを押すと、現在選択されているパターンが新しいスロットに複製されます。

パターンの消去

[glide] と [pattern] を押すと、現在選択され

ているパターンが消去されます。

パターンのチェイン

[pattern] を押しながら、1~4キーのシーケンスを押して最大128のパターンのチェインを作成します。1つのパターンを繰り返して選択することも可能です。例: 1、1、1、4と入力すると、パターン1を3回再生してからパターン4を再生します。その後、シーケンスは初めから繰り返して再生されます。

11. 複数のユニットを同期

標準オーディオケーブルを使用して、複数のユニットを接続します。マスターユニットがスレーブユニットのテンポを制御します。マスターユニットの [glide] を押しながら [bpm] を押し、同期モードを切り替えます。この操作を繰り返して行うことで、ディスプレイの右上隅に表示された各種モードを切り替えます。スレーブユニットの [play] を押してマスターのクロック同期を待ちます。マスターユニットの [play] を押して開始します。

同期モード

5つの同期モードがあります。既定モードは「SY0」です。

同期を使用したときは、信号はオーディオ信号 (右チャンネル) と同期信号 (左チャンネル) とに分けられます。

同期のシナリオ

例A

チェイン: PO-28 → PO-20 → PO-12
設定: SY1 SY5 SY4

例B

チェイン: external → PO-28
設定: volca SY2
iphone
computer
synccontrol

例C

チェイン: ext. → PO-28 PO-14
設定: SY3 → SY4

例D

チェイン: PO-28 → ext. (分岐ケーブル)
設定: SY1

免責条項

teenage engineeringは、あらゆる合理的な努力を払い、本製品の精度と信頼性をお届けしておりますが、teenage engineeringもサードパーティーのサプライヤーも本製品の販売、使用に関して生じたいかなる損失、損害に対し、一切責任を負いません。ただし、下記は例外とします。a) 当社の過失または当社での勤務において当社の社員または代理店の過失により生じた人身傷害。b) 当社の重大な過失または故意の不正行為により生じたその他の直接損害または損傷。
満足のゆく品質、特定目的への適合性の保証を含め、すべての明示的または黙示の条件、保証、約束は、口頭または書面にかかわらず、除外されます (ただし、法令により明示的に記載または暗示されている条件、保証、約束は除外できません)。